事業概要 【図書館システムICタグ対応事業】

自治体名	東京都狛江市	人口	82,168人(R8.2.1現在)	事業費	74,703千円
事業概要	図書館サービスを都内の先進的な自治体に比肩するレベルまで強化し、現状都平均以下である狛江市の貸出数、予約数を都平均まで押し上げることを目的として、図書館資料に貼付されているICタグを読み取ることで、資料の貸出、返却、予約をセルフ化することができるシステムを導入する。				
具体サービス	以下の機器を令和７年11月にリニューアルオープンした「こまえみライブラリー」及び令和８年11月に新設予定の中央図書館に設置する。 【自動貸出機・自動返却機の導入】 自動貸出機を設置することで、利用者自身が簡易に貸出手続きを行うことが可能となり、貸出処理に係る窓口での職員の目を排することができる。また、自動返却機の導入により、仮返却処理を即座に行うことが可能となり、返却のタイムラグにより利用者の貸出可能枠が圧迫されることを避けるとともに、資料返却の際の職員の目を排することが可能となる。 以上２点の機器導入により、貸出数の上昇に期する。 自動貸出機は、新設中央図書館１階に３台、２階に２台、「こまえみライブラリー」に１台の計６台設置予定。自動返却機は、新設中央図書館及び「こまえみライブラリー」に１台ずつ計２台設置予定。 【IC予約棚の導入】 IC予約棚を導入することにより、利用者が自身で予約資料を受け取ることが可能となる。また、受け取った資料を自動貸出機で貸出することにより、予約本の受け取りに際して職員の目を完全に排除することが可能となる他、通常の貸出より比較的時間がかかりやすい予約本の受取において、行列等の圧迫を感じることなく、利用者のペースで予約本を受け取ることが可能となり、予約数の上昇に期する。 IC予約棚は、新設中央図書館にのみ設置する。 【セキュリティゲートの導入】 資料に貼付されたICタグの情報をもとに、当該資料が適正に貸出処理されているかを自動的に判断するセキュリティゲートを導入する。自動貸出機の誤った使用によるヒューマンエラーを防ぐとともに、不明資料の数を減ずることが可能となる。 セキュリティゲートは新設中央図書館に設置予定。				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①自動貸出機による貸出点数 ②予約件数増加率（前年増加比）		【アウトカム指標（成果指標）】 ①IC機器導入に関する図書館利用者の満足度 ②新規利用登録者増加率（前年増加比）		

